

平成23年度病虫害発生予報第11号

平成24年2月2日
鳥取県病虫害防除所

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	発生時期	予想発生量
野菜	ラッキョウ	白色疫病	平年並	平年並～やや多い

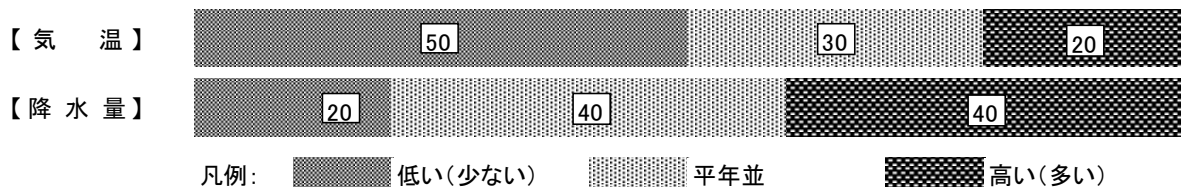
気象予報（抜粋）

1か月予報（1月28日～2月27日：1月27日、広島地方气象台発表）

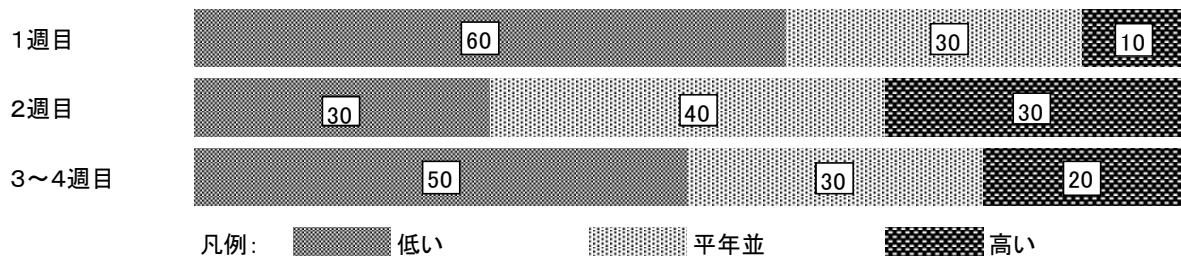
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

1週目は気温がかなり低くなる見込みですが、2週目は気温の低い状態は一旦解消するでしょう。3～4週目は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



野菜

[ラッキョウ]

1 白色疫病

(1) 予報の内容

発生時期 平年並
発生量 平年並～やや多い

(2) 予報の根拠

ア 1月20日現在の現地ほ場における本病の発生量は、平年と比べてやや少なかった。

イ 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨により、発病が急速に広がりやすい。

ウ 去年の発生ほ場や、積雪の多い場所では、局地的に多発する恐れがある。

エ 向こう1か月の気象予報から、発生量は平年並～やや多いと予想される。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 融雪後は速やかに、リドミルMZ水和剤500倍液又はホライズンドライフロアブル1,000倍液を、展着剤を加用して散布する。

イ その後も、雪解け時や、降雨が続く場合の雨の止み間に、上記薬剤に加えてフロンサイド水和剤1,000倍液などを輪番散布する。

ウ 罹病株は、伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。

[おしらせ]

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺への飛散には十分注意しましょう。

農薬の詳しい登録内容は、独立行政法人 農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報検索システム」から検索できます。(http://www.famic.go.jp/)

なお、農薬の使用や防除指導等に際しては、農薬のラベルを必ず御確認ください。

<鳥取県病虫害防除所ホームページ>

アドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/tottori/>

病虫害発生予察情報、フェロモントラップ調査結果（ナシのシンクイムシ類）などの参考情報、病虫害の診断方法などの情報をお知らせしていますので、ご利用下さい。

<お問い合わせ>

普通作物関係：〒680-1142 鳥取市橋本 260

鳥取県病虫害防除所

(TEL：0857-53-1345、E-mail：boujyot@titan.ocn.ne.jp)

もしくは

鳥取県農林総合研究所農業試験場環境研究室

(TEL：0857-53-0721、FAX：0857-53-0723)

果樹・野菜・花き関係

〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿 2048

鳥取県農林総合研究所園芸試験場環境研究室

(TEL：0858-37-4211、FAX：0858-37-4822)

※ 予報第12号の発表は、3月8日（木）の予定です。